

課題研究 I

教育における集団の意味を問い直す

■設定趣旨

現在、対話的な学びが重視されようとする一方で、個別化学習、アダプティブ・ラーニング(適応学習)、ブレンディッド・ラーニング(BL)、パーソナライズド・ラーニング(PL)等を推奨する声も大きくなりつつある。また、学級崩壊という現象が一般的なものとなって日常化し、いじめや不登校の大きな要因として学級集団における人間関係の問題があることが指摘されつつある。そういうなか、あらためて教育における集団というものについて根本的に問い直してみる必要があるだろう。本課題研究では、学習集団論の立場と学級集団論の立場から報告いただくとともに、教育/学習の個別化について検討を進めていきたい。それを通じて、教育において集団がもつ意義と課題について論議を展開し、これからの教育において集団というものをどのように考えていけばよいのか、その手がかりを得たいと考えている。

■コーディネーター・司会・指定討論者

阿部 昇(秋田大学)

田上 哲(九州大学)

■提案者

折出 健二(愛知教育大学名誉教授)

熊井 将太(山口大学)

課題研究Ⅱ

教育学分野の参照基準(案)と教職課程コアカリキュラムの検討

——教育方法学として、どのように向き合うか——

■設定趣旨

本課題研究では、教育学分野の参照基準(案)と教職課程コアカリキュラムで示された教育学像や教師像を再検討することを目的としている。教員養成のカリキュラムは、大きく2つの要請に規定されている。1つは、教育学の学問的体系に基づくカリキュラムであり、研究上の知見を教員養成に還元していくことである。もう1つは、教員養成の実践的・政策的課題に基づくカリキュラムであり、教育現場の課題に応えるものとしていくことである。これらベクトルを異にする求めを、私たちはいかに調整していけばよいのだろうか。

現在、日本学会議では「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準教育学分野」に関する議論が展開されており、参照基準に示された教育学・教育方法学の姿から、教職課程コアカリキュラムを読み直すこと、逆に教職課程コアカリキュラムに内在する教育学・教育方法学の役割から、参照基準を見直すことができる状況下にある。そこで本課題研究では、3人の提案者に、①教育学分野の参照基準の意義と課題、②教職課程コアカリキュラムの意義と課題、③大学教育の現場での受けとめ、についてご提案いただく。それを踏まえて、これらを教育方法学としてどのように「読み直し」「見直し」、そして「向き合う」かについてフロアと意見交換したい。

■コーディネーター・司会者

西岡加名恵(京都大学)

草原 和博(広島大学)

■提案者

松下 佳代(京都大学)

三石 初雄(東京学芸大学名誉教授)

森田 真樹(立命館大学)

課題研究Ⅲ

Research on Teaching としての授業研究の可能性

■設定趣旨

近年、授業研究は、科学的、実証的な理論形成を目的とした Research on Teaching としての側面よりも教師の学習の契機としての Lesson Study としての側面への注目がより強くなっている。それは、90 年代初頭における「科学的」授業研究への批判を契機としている。それから 30 年たち、新たな学習論や教師論の登場や質的研究法の自覚化、急速に変容する社会状況への対応をはじめとする教育学や心理学、社会学の学問的状況の変化が様々な形で生じている。今日、実践者と研究者との新たな関係性のもとで、授業の社会文化性を前提としつつ、当事者の視点に立つ Research on Teaching を模索することで授業に基づく理論構築や学術への貢献も新たなかたちで行われうる。たとえば、教育学諸理論に対して授業研究に基づいて批判的検討を行うことも学術コミュニティとしての教育方法学会の役割であろう。そこで、本課題研究では、国内外における授業研究をめぐる現在の状況を踏まえながら Research on Teaching としての授業研究の現代的な可能性を探究する。

■コーディネーター・司会者

的場 正美（東海学園大学）

藤江 康彦（東京大学）

■提案者

サルカール アラニ モハメッド レザ（名古屋大学）

河野麻沙美（上越教育大学）

課題研究Ⅳ 道徳教育の基本と実践の探究

■設定趣旨

教育において道徳教育に関わる分野は、学力や陶冶の分野とともに、人間形成作用において重要な役割を担っている。すでに行われている幼児教育をはじめ、小学校、中学校の学校現場においては、教科書を用いた「特別の教科 道徳」が開始されており、高校においても来年度から新たな教育が始められる。このような機会に、あらためて、そもそも道徳教育の基本は何かを問い直し、あわせて実践上の諸課題を探究したい。

■コーディネーター・司会者

梅原 利夫（和光大学名誉教授）

久田 敏彦（大阪青山大学）

■提案者

藤井 啓之（日本福祉大学）

渡辺 雅之（大東文化大学）